

【開催報告】西日本支部（関西地区）現場見学会

都市計画道路「大県本郷線」新設工事の内、ＪＲ関西本線（柏原駅付近）との交差部で行っている線路直下工事の現場を見学しました。この日はＲ＆Ｃ工法によりボックスカルバートを築造する工事のうち、箱型ルーフを推進するための準備をしているところでした。

主催：西日本支部（関西地区）

開催日：2018年11月22日（木）

見学場所：大阪府柏原市

工事名：柏原構内大県本郷線ＢＶ新設（受注者：大鉄工業㈱）

参加者：5名



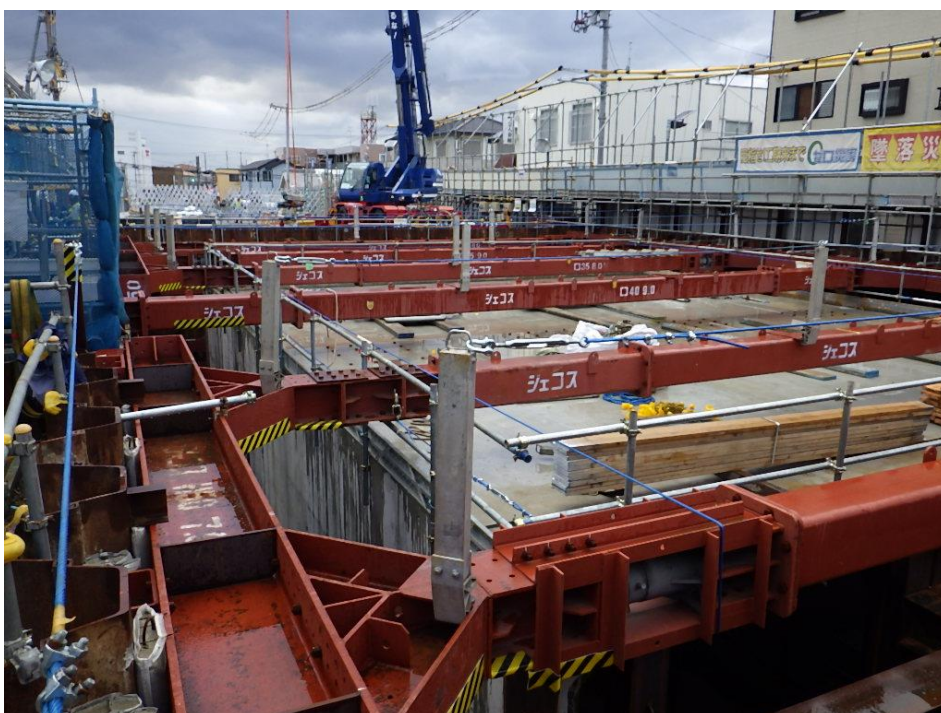
都市計画道路「大県本郷線」完成イメージ図（施工概要説明資料より許可を得て抜粋）

鉄道営業路線の直下を通ること、地元の民家と施工ヤードが近接しているということもあり、現場内で様々な工夫をされていました。説明の中で、施工中の苦勞を乗り越えてこられたからこそその熱い想いを感じることができました。

施工方法としては、まず薬液注入にて地盤を改良し、立坑を構造します。仮設の箱型ルーフを推進にて施工し、その後、ボックスカルバートを立坑から発進させて線路下まで推進します。線路下の推進工事にはＲ＆Ｃ工法のほか、数々の工法があることも説明いただきました。11月25日より夜間工事にて箱型ルーフの推進が始まっています。無事施工が終了し、道路として開通することを楽しみにしています。



箱型ルーフ設置施工状況：こちらからルーフを入れていきます。



発進側ボックスカルバート施工状況：線路挟んで対面側に構築済の、ボックスカルバートです。これから線路下に推進されます。



現場見学状況：熱心に教えていただきました。



箱型ルーフ：実際にこの中に人が入って掘削を行います。



集合写真：メインの「ルーフ」と並んで。